

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 秋田県
本事業の担当部局名 あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名		あきた子育て情報発信事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)		8,013,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	8,013,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		8,013,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	8,013,000	0	0	0	0	8,013,000	
	対象経費支出予定額	8,013,000	0	0	0	0	8,013,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 秋田県は、若年層の県外流出による社会減と、婚姻件数と出生数の減少による自然減により人口減少に歯止めがかからない状況である。 県人口の自然減抑制のため、若年層に向けたライフプランを学び考える機会の充実や地域全体で結婚・子育てをする機運の醸成のほか、あきた結婚支援センターを本県の結婚支援の中心に位置づけ、結婚・出産につながる独身者の出会いの機会の創出に向けた取組の充実を図る。 <本個別事業の位置付け> 若年層の人口減少、未婚化・晩婚化や平均初婚年齢の上昇に伴う晩産化の進行が相まって、少子化に歯止めがかからない当県において、出産・子育てに関する不安が解消され、結婚し、子どもを持ちたいと願う全ての県民が安心して出産・子育てできる社会を実現するには、社会全体で出産・子育てを応援する機運の醸成が不可欠であることから、Instagram及び出産・子育てガイドブック等による複合的な情報発信を実施し、本県での子育てに前向きな意識を醸成するとともに、県民や企業等が子育て支援に積極的に参画できる環境を創出する。					
	番号	項目	内容					
	1	あきた子育て応援アンバサダー事業	秋田県内の子育て支援情報等を発信するInstagram上のクリエイター等を「あきた子育て応援アンバサダー」として任命し、「あきた子育てふれあいカード」の協賛店や秋田県独自で認定している「こどものえき」の認定店舗、市町村等が運営する子育て支援施設や遊び場等を取材の上、県公式Instagramアカウント「いっしょにこそだてあきた」等を用いて発信することで、当県での子育てに前向きな意識を醸成するとともに、県民や企業等がInstagramを通じて、県政へ積極的に参画できる環境を創出する。 なお、アンバサダーは県が任命するが、アンバサダーへの依頼や取材先の選定、投稿内容の校正、取材先への許可取り等は委託により実施する想定であり、その委託費の中に、これらの事務を実施するために必要な経費やアンバサダーへの報酬等を含んでいる。					

個別事業の内容	2	あきた出産・子育て応援給付金事業(あきたの子育て情報発信業務)	妊婦や子育て家庭、さらに、これから親になる世代に対し、当県の子育て支援施策等について「あきたで出産・子育てガイドブック」やInstagramにより複合的に情報発信することで、本県での子育てに前向きな意識を醸成する。 当該事業は、令和5年度から実施してきた事業をブラッシュアップするものであり、令和7年度から実施する「あきた子育て応援アンバサダー事業」と併せて、さらに発展的に実施することとしている。 なお、令和5年度から作成している「あきたで出産・子育てガイドブック」は県や市町村が実施する子育て支援情報や、県内の遊び場情報等を掲載しているものであるが、このガイドブックに「あきた子育てふれあいカード」や「こどものえき」の情報など、企業等が実施する子育て支援情報を追加することで、社会全体で子育てを応援しているということの子育て世帯等により強く伝えることができると考えている。 また、企業等の取組を県が発信することで、企業等が県の子育て支援に参画するインセンティブを生み出していきたい。 この業務は委託により実施するものであるが、その中にガイドブックの作成費、Instagram投稿作成費、web広告費を含んでいる。		
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・これまでは「あきたで出産・子育てガイドブック」の作成と当該ガイドブックに掲載した内容のInstagram掲載、web広告を実施してきたところ。 ・県や市町村の事業情報等を発信することで、事業認知度の向上やInstagramのフォロワー獲得など、一定の効果を得ることができているが、出生数等の改善は見られていないほか、企業等が「あきた子育てふれあいカード」や「こどものえき」などの県事業に参画する動きが小さい。 ・また、県直営でコンスタントに投稿を作成し、Instagramにアップする業務は膨大な労力がかかり、またInstagramのトレンドは日々変化することから、これを追い続けるのは困難であった。 ・このことから「あきた子育て応援アンバサダー事業」を開始し、県内で子育て支援情報等を発信しているクリエイター等の力を借りながら、コンスタントかつトレンドを押さえた情報発信をすることが目的。 ・さらに、「あきたで出産・子育てガイドブック」に企業等が実施する子育て支援情報を掲載したり、Instagramで企業等の取組を紹介する投稿を実施したりすることで、企業等が県の子育て支援に参画するインセンティブを高めたい。				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.44 (R7年)	1.10 (R5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.10 (R5年)	
	婚姻件数		件	2,302 (R5年)	
	婚姻率			2.5 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	秋田県公式Instagramアカウント「いっしょにこそだてあきた」の月平均リーチ数	件	20,000 (R8.3.31時点)	12,037 (R6.12.31時点)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	—	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	秋田県公式Instagramアカウント「いっしょにこそだてあきた」のフォロワー数	人	10,000 (R8.3.31時点)	5,037 (R6.12.31時点)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				